

# あったかトーク

第33号 2020年新春号

**ひぐちのりこ事務所**  
(青葉区版)  
発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士  
社民党仙台市議団  
●市民教育常任委員会  
●防災・減災推進調査特別委員会 委員長  
●議会運営委員

第4回  
定例会

## 台風19号災害復旧費 補正予算など29議案を審査



新たな年となりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。  
仙台市議会第4回定例会は12月5日から20日まで開かれ、補正予算案や条例改正案など計29議案の審査が行われました。

補正予算案は、いじめ対策に法律や心理などの専門家による相談窓口の経費1,050万円、台風19号の災害復旧費など計7億3,200万円が計上。11月に市長が専決処分した32億3,000万円も含め、市の台風19号による災害復旧費は総額66億円余になると予想されています。

条例改正案では、公務員の災害対応や繁忙期などに限定して超過勤務時間を月60時間、年720時間を上限とする「勤務時間、休暇に関する条例」の改正や低所得や生活保護受給の高

齢者等の一時的宿泊施設を「無料低額宿泊所」として、設備と運営の基準を定める改正案が上程されました。

### 原発事故に関する和解の件

東京電力福島第一原発事故に起因して仙台市が復旧対策費用を東京電力に補償を求めていた件で、2013年度までの分で1億2,891億円のうち7,600万円が支払われたものの、残額は支払われず、原子力賠償紛争解決センターに和解斡旋をし、約4,300万円に合意した件も提案されました。2014年以降分は3,478万円あるということです。また、荒井児童館の新設、イズミティ21や福祉プラザ、シルバーセンター、児童館等の指定管理者指定の件等も提案されました。

### 道路照明灯問題、議員報酬削減案は否決

第3回定例会で、道路照明灯の電気料の過払い分のうち東北電力の協力金(4,600万円)、未払い電気料の減額分(1,160万円)を差し引いた3,440万円の半額を穴埋めするとしたものを、改めて全額とすることを表明した問題です。議会側も責任を取る

べきとの考えから議員一人計10万円負担すべきとの議案が出され、社民党市議団などが賛成したものの少数否決となりました。

県が打ち出した「宿泊税」導入に合わせ、市も独自に宿泊税を創設するよう求める決議案および自家用車を使い有償で運送をするライドシェア導入について慎重な検討を求める意見書案、免税軽油制度を2021年4月以降も継続するよう求める意見書案も可決しました。

### 議会棟喫煙室存続の再協議を求める申し入れ

議会最終日の20日、議員有志15人が議会棟屋内にある喫煙室存続の見直しに関して協議・検討をするよう求め、議長あての申し入れを議会事務局に提出しましたが、議長は対応をしませんでした。



喫煙室存続再検討申し入れ

## ひぐちのりこ 市政報告&おしゃべり会

市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合ってください。お子様連れでも参加いただけます。

◆日時/1月23日(木) 15時半~(1時間くらい)

◆会場/ひぐちのりこ事務所 直接お越しください。

市政や議会に関して、ご友人同士やサークルなど議員の話を直接聞いてみたい方、お伺いいたします。お気軽にご連絡ください。

出入り  
自由  
無料

味の素 勝山公園 七十七銀行 中江→ 石井屋 ライオンズマンション 二日町北四番丁 丸信精肉店 河北仙飯 仙台駅 上杉山通小学校 上杉山通小学校前

**ひぐちのりこ事務所**  
〒980-0011  
仙台市青葉区上杉3丁目9-31  
プリマヴェーラ社王101  
TEL.022-398-8171  
FAX.022-398-8172  
セブンイレブン側からお入り下さい。  
お気軽にお立ち寄り下さい!

# ひぐちのりこ 東奔西走!

## 11月11日～13日 市民教育委員会視察 —「小児救急アプリ」や「救急サポートアプリ」など

11日は、東京都教育委員会と企業が提供する2018年9月にオープンした体験型英語学習施設、東京都英語村を視察しました。海外生活などが疑似体験でき、昨年度は4万6千名、362団体の利用があったそうです。浜松市での不登校対策、ペアレントトレーニングや適応指導教室について話を聞きました。

12日は京都市建設局、自転車施策について、安全利用の取り組みや走行環境の取り組みや、健康長寿のまち・京都いきいきポイント事業と連携し、アプリを利用して安全教室受講等によるポイント取得など、自転車利用による健康づくりの取り組みはとても興味深かったです。さらには、学校跡地利用による大学と連携をした京都国際マンガミュージアムの見学。

13日は大阪市消防局で「大阪市の救急体制について」レ

クチャーを受けました。救急に関するアプリ「小児救急アプリ」「救急サポートアプリ」の紹介や、外国籍の方々向けの「救急多言語問診アプリ」の実際の運用状況を視察。救急の指令センターおよび医師や看護師が電話相談に応じる救急安心センターおおさかの現場も視察しました。

救急出場が連続最多を更新している仙台市にとって大いに参考になる取り組みです。



小学校校舎の跡施設を活用した京都国際マンガミュージアム前

## 11月29日 世田谷版「ネウボラ」視察 —「子育て利用券」や「泣いてもいいよステッカー」など



WEラブ赤ちゃんプロジェクト

仙台市でも妊娠から出産、子育てまで切れ目のない子育て支援に取り組んでいます。フィンランド発の子育て支援事業であるネウボラを先駆けて取り入れた世田谷区について社民党市議団で視察をしました。妊娠期面接について全員実施を目指す取り組みや、産後ケアやベビーマッサージ等に使える子ども1人に当たり1万円分のチケットとして使用できる「子育て利用券」の実施がなされています。また、WEラブ赤ちゃんプロジェクトと共同して、泣いてもいいよステッカーが配布されています。この取り組みについては国会でも取り上げられ、政府からは検討し具体的な対応を考えていきたいとの答弁がありました。

## 11月30日 東部復興道路(かさ上げ道路)の開通式

東日本大震災で被災した仙台市東部沿岸部につくられ、事業費は避難道路もあわせて317億円で総延長10.2キロあり、6メートルの盛り土によって津波を多重防御して威力を軽減することを目的としています。

震災遺構荒浜小で記念式典があり、地元中学生による開通に寄せた言葉では、本来であれば一緒にときを過ごすはずであった友人を津波で亡くしたこと、東日本大震災で校舎が避難所となったこと、国内のみならず海外からも多くの励ましがあったこと、自分たちが主体となっ

て復興に取り組んだことなどが話されました。

当初、全面開通は10月19日の予定でしたが、台風19号による影響で、延期となりました。

東日本大震災から8年と8カ月余り、仙台市のハード面の復興は東部復興道路の開通で一区切りとなります。



お願い

「ひぐちのりこ市議会ニュースレター」を郵送でお届けしている方につきましては、発行側の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付されるなど、ご迷惑をおかけすることもございます。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたらあわせてお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。

# 皆さんの声を聴いて、市政へ!



## 12月3日 学生の政策研究会で議員活動の紹介

東北大学法学部の学生の皆さんの公共政策研究会で、保育所待機児童問題についてディスカッションしました。

さまざまな角度から学生の皆さんが丁寧に調査した事前資料を基にした論議。保育の質や保育所現場の状況、保護者の就労支援などについて真摯に話し合いました。実際の議員活動についても述べました。



## 12月10日 「非核平和都市宣言」採択を! 仙台市に要請行動

宮城県原爆被害者の会の木村緋沙子会長が藤本副市長と面会し、仙台市が「非核平和都市宣言の採択」を採択するよう求める市長あての要請行動に同席しました。

原爆の悲惨さを伝え、核廃絶に向けての教育、運動は風化させてはいけない、11月に来日したローマ法王が、核兵器廃絶を訴えており、さらに来年は原爆投下から75

年の節目を迎える機に、ぜひとも宣言をしてほしいと訴えました。また毎年行っている原爆パネル展の会場確保などの支援も求めました。



要請書を受け取った副市長は、市政の位置づけとしても同じで、議会も含めて機運の醸成が必要としながらも、仙台市議会は1985年に核兵器廃絶決議案を可決した。さらには東日本大震災の復旧復興、防災都市としての取り組みをしなければならない。非核平和都市宣言までの踏み切りではなく、思いを位置づけながら市のスタンスとしてご理解いただければと述べるのみでした。

宮城県内では16市町村が非核平和都市宣言を採択していますが、宮城県・仙台市ともにいまだに採択していません。社民党仙台市議団は、長年にわたって予算要望提出の際に採択をするよう要望しています。



市への要請の前段、社民党市議団と意見交換

## ひぐちのりこ 主な活動日誌

- 11月18日 仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進協議会研修
- 11月20日 防災・減災推進調査特別委員会
- 11月21日 仙台市教職員組合女性部と女性議員との懇談会
- 11月22日 宮城退職者連合2019年度仙台市要請

- 11月28日~29日 議会運営委員会、仙台の夕べ、会派視察
- 12月5日~20日 仙台市議会第4回定例会
- 12月23日 防災・減災推進調査特別委員会
- 12月25日 ひぐちのりこ市政報告会&おしゃべり会

### ●●● これからの主な予定 ●●●

- 1月7日 仙台市消防出初式
- 1月14日 フェミニスト議員連盟パワーアップ集中講座
- 1月16日~17日 防災・減災推進調査特別委員会視察
- 1月22日 仙台市国民健康保険運営推進協議会
- 1月23日 みやぎ生協メンバー(組合員)との懇談

- 1月24日 会派「市政要望・予算」回答
- 1月27日 仙台・福島・山形広域観光連携推進協議会研究会
- 1月30日 全国救急隊員シンポジウム
- 1月31日 議会運営委員会
- 2月7日~3月12日 仙台市議会第1回定例会

# 市民教育委員会で質問しました

## 学校給食、性暴力防止のリーフレット改善、出生届の郵送等啓発について(11月21日)

学校給食での栄養素の改善のため学校給食審議会から、一日当たり45円から60円の給食費の改定について示されましたが、支払いに困難を生じかねない場合の対応について質問しました。経済的に困難な家庭については、**就学援助や生活保護の制度において、給食費が全額免除されているので、制度の周知を図っていきたい**とのことでした。なお、社民党は給食費について、公的な支出を求めています。

その他、栄養強化食品を取り入れる趣旨、現在基準を上回っている塩分摂取量の抑制について、学校での給食時間を十分にとること、給食調理場で空調設備がない61校について、温度管理などの対策を質しました。

主に女性向けの性暴力防止のリーフレットなどの公的な媒体について

「ひとりで暗い夜道を歩かない」「エレベーターで知らない男性と2人きりにならない」「派手な服装や、露出の多い服装はしない」などの表現が散見されます。このことで、万が一被害を受けても声を上げづらく、女性への自責感を増幅させてしまうこと、被害者が自分のせいだと思ってしまうような不適切な表現とならないよう啓発を行うことについて求めました。

出生届は生後14日以内に最寄りの役所に提出することとなっていますが、産後の母親が役所に提出している事例もあり、母体にとってかなり厳しいものです。出生届など「郵送で」届け出ることができませんが、知られていないので、啓発について質し、ホームページで郵送も可能である旨の掲載を求め、検討するとの答えでした。

## 仙台市教員募集パンフレット、学校環境衛生について(12月18日)

仙台市教委が2020年度の教員募集パンフレットで紹介した教員9名の勤務時間が、昨年度のパンフレットと同様に市教委が定める一日7時間45分を超え、全員が9時間以上だったことについて、長時間労働を容認しているのではないかと質問しました。

これに対し、教員のリアルな状況を伝えたかった。教員の現状が分かり、役立つという感想も寄せられている。さらに、働き方改革のページで、部活動に外部指導者の活用を取り入れる



キャップネットみやぎの皆さんと虐待防止、児童相談所の強化など意見交換

など、教員の負担軽減に取り組んでいる。学校現場でも早く帰宅する意識を高めたいと語りました。このことについて河北新報に掲載されました。

インフルエンザウイルス感染拡大防止のために学校の環境衛生について質問しました。今年の学校環境衛生検査では、望ましいとされている17℃以上28℃以下の温度、30%以上80%以下の湿度の基準をおおむね満たしていた。またほとんどの普通教室で加湿器を設置しているとのことでした。

換気に関しては、基準となっている二酸化炭素濃度が1500ppmを超えている市立学校は、191校中38校だった。児童生徒の健康の保持増進のため、適切な換気や暖房の使用など、衛生環境の維持に努めていきたいとの答えでした。



## 市議会ひぐちコラム 県の水道事業に一言!!

第4回定例会には「宮城県が進める水道事業への『みやぎ型管理運営方式』導入に対し、十分な情報公開と熟議を求める意見書提出に関する件」の請願が出されましたが、賛成少数で不採択となりました。県議会では条例改正案が可決されましたが、事業者の選定基準、災害時の対応、水質の維持や水道料金の行方など具体的な内容はこれからです。民営化した海外では失敗例も多く、仙台市議会の議論でも水が命や暮らしに直結し大切さが強調されました。早急に取り組むべきは民営化ではなく、公営での水道の広域連携による基盤強化です。



<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>



<http://nohiguchi.jugem.jp/>



ツイッター

twitter アカウント名 #nohiguchi



Facebook

facebook ページ

<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172